

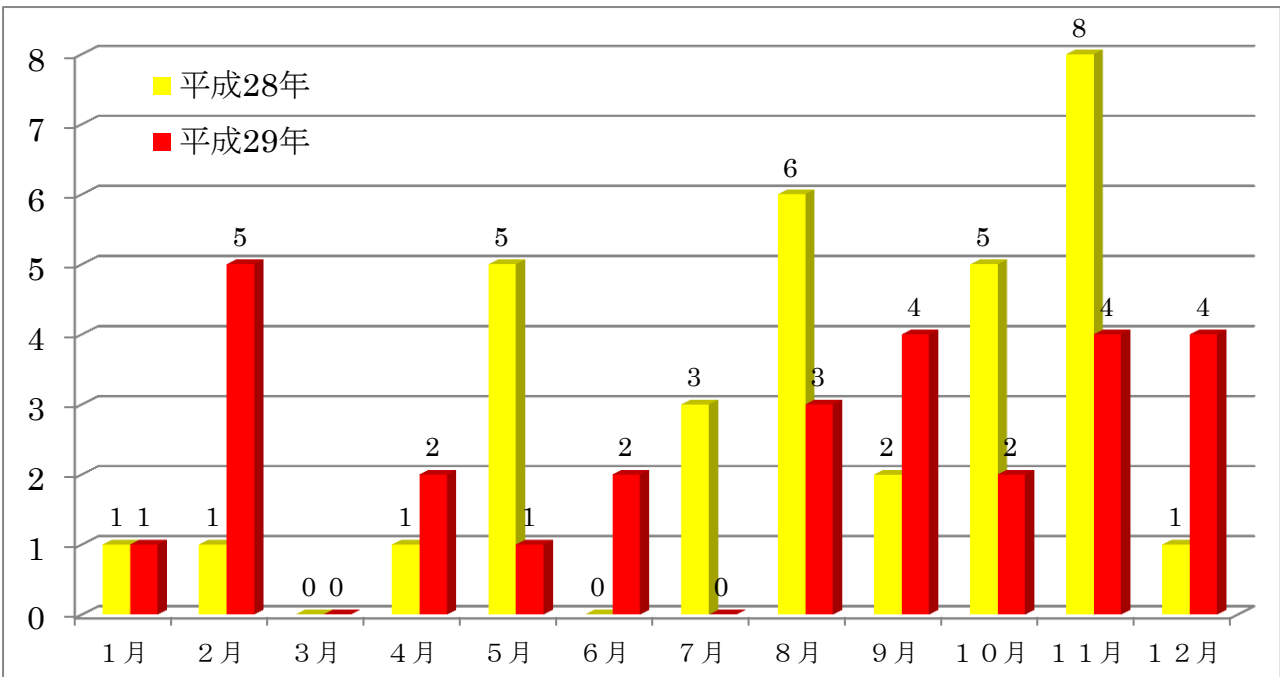
愛知県内における山岳遭難発生状況

(平成 29 年)

発生件数	遭難者数(人)					合計
	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出	
23	1	0	3	9	15	28

※ この統計結果は、愛知県警察が認知した山岳遭難を集計したものであり、他の救助機関等が公表する統計とは異なる場合があります。

1 月別発生状況 (遭難者数による表示)



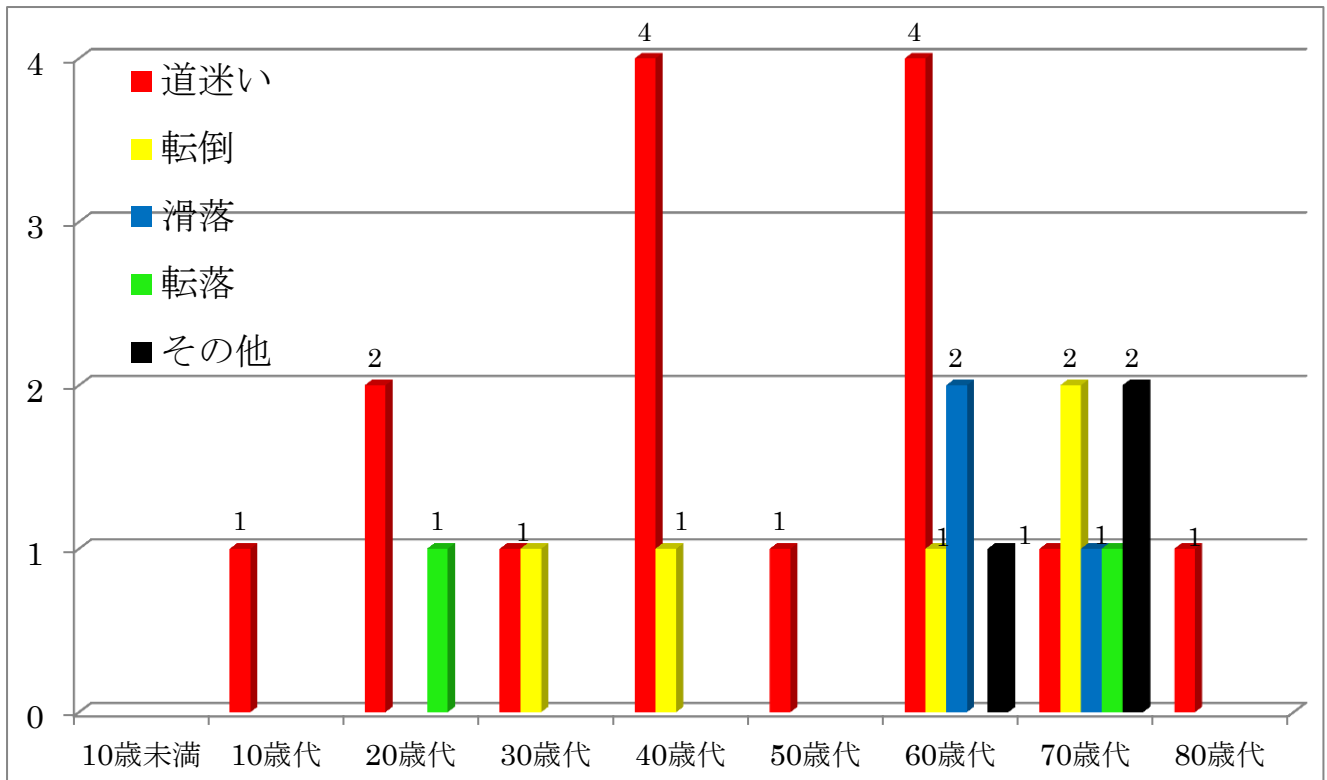
年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成28年	1	1	0	1	5	0	3	6	2	5	8	1	33
平成29年	1	5	0	2	1	2	0	3	4	2	4	4	28
増減数	±0	+4	±0	+1	-4	+2	-3	-3	+2	-3	-4	+3	-5

(※ 数字は、遭難者人数を表しています。)

平成 29 年では、2月の発生が最も多く、春から初夏にかけての春山シーズンにおける山岳遭難は、前年に比べるとやや減少しております。

しかし、年間を通じて発生していることから、登山の時期に関らず、遭難防止対策をしっかりと立ててから、登山をするようにしてください。

2 遭難者の年齢及び原因別発生状況（遭難者数による表示）

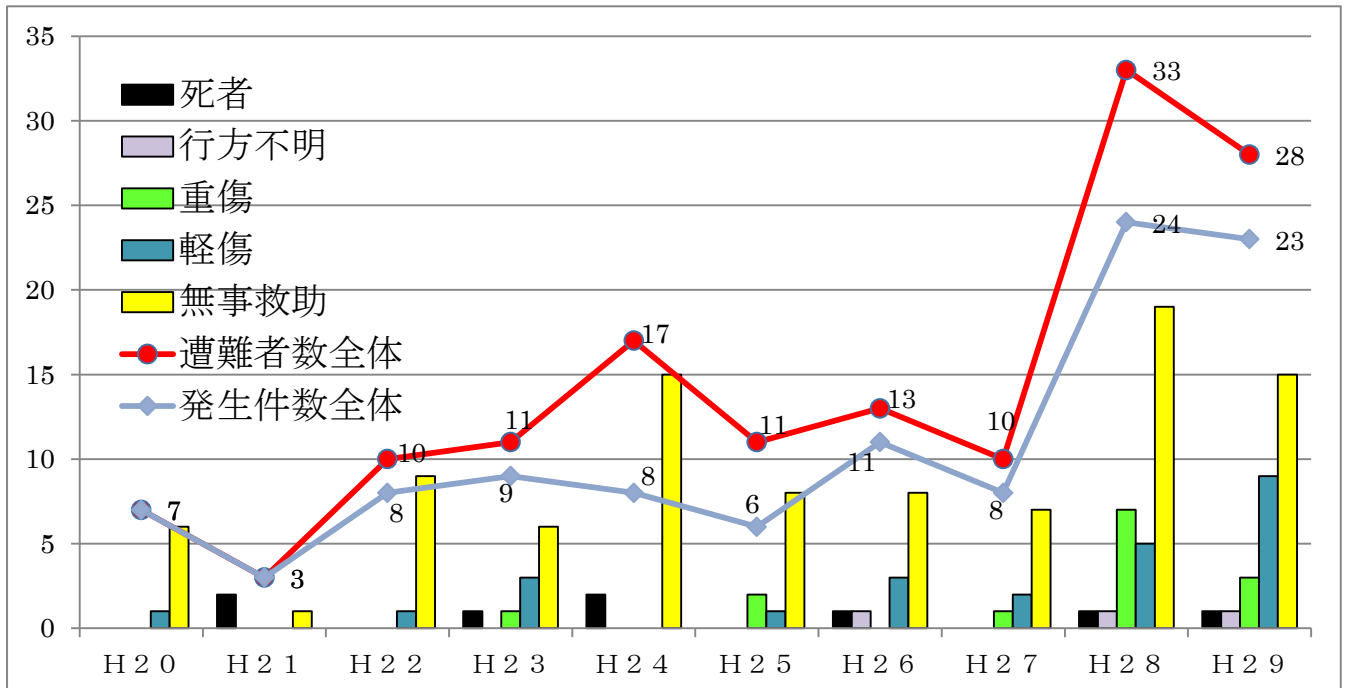


年代／原因	道迷い	転倒	滑落	転落	その他	合計
10歳未満						0
10歳代	1					1
20歳代	2			1		3
30歳代	1	1				2
40歳代	4	1				5
50歳代	1					1
60歳代	4	1	2		1	8
70歳代	1	2	1	1	2	7
80歳代	1					1
合計	15	5	3	2	3	28
(割合)	53.6%	17.9%	10.7%	7.1%	10.7%	

(※ 数字は、遭難者人数を表しています。)

山岳遭難発生原因の約5割が、『道迷い』による救助要請となっています。
 事前に登山をする予定の山岳に関する情報を集め、登山計画をしっかりと立てることで、道迷いによる山岳遭難を未然に防ぐことができます。
 また、登山目的に見合った装備品を用意して、事故防止に心掛けてください。
 警察への救助要請の中には、体力不足による救助要請もありますので、自分の能力に見合ったグレードの山を選び、楽しい登山にしましょう。

3 山岳遭難の発生推移（平成20年から平成29年まで）



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
発生件数	7	3	8	9	8	6	11	8	24	23
遭難者数	7	3	10	11	17	11	13	10	33	28
死者		2		1	2		1		1	1
行方不明							1		1	
重傷				1		2		1	7	3
軽傷	1		1	3		1	3	2	5	9
無事救助	6	1	9	6	15	8	8	7	19	15

近年の登山ブームに伴った登山者の増加により、山岳遭難の発生件数も増加傾向にあります。

滑落や転倒によって骨折等の負傷をされる登山者の方も増えて来ておりますので、出来るだけ単独登山は避け、万が一の場合であっても、すぐに対応できるような仲間と一緒に登山するようにしてください。

また、単独登山をする場合には、家族等の身近な方にどこの山を登るのか伝え、予定までに戻らなかった場合の対応についても話し合うようにしてください。

4 地域別発生状況（発生件数による表示）



※ 平成 29 年中における山岳遭難一覧

番号	発 生 日	発生場所 (標高)	遭 難 者					事 案 概 要
			構成 人数	遭難者 人数	態 様	原 因	登山届 の提出	
1	1月29日 (日)	棚 山 (760m)	2	1	軽傷	転倒	無	登山道をトレイルランニング中に転倒したもの。
2	2月19日 (日)	神石山 (324m)	2	1	軽傷	転倒	無	登山道を歩行中、足を滑らせて転倒したもの。
3	2月22日 (水)	神石山 (324m)	2	1	軽傷	病気等	無	登山道を歩行中、脱水症状となって動けなくなったもの。
4	2月25日 (土)	明神山 (1016m)	1	1	重傷	滑落	無	単独登山者が、尾根から滑落したところを他の登山者に発見されたもの。
5	2月25日 (土)	鳳来寺山 (684m)	2	2	無事 救助	道迷い	無	道に迷って遭難し、自ら救助要請をしたもの。
6	4月16日 (日)	本宮山 (789m)	3	1	無事 救助	道迷い	無	家族で登山中、子どもが道に迷って遭難したもの。
7	4月23日 (日)	吉祥山 (382m)	2	1	軽傷	転倒	無	登山道を歩行中、足をつまづいて転倒したもの。

8	5月2日 (火)	平山明神山 (970m)	1	1	軽傷	滑落	無	単独登山中、山腹で滑落し、自ら救助要請をしたもの。
9	6月19日 (月)	古戸山 (759m)	3	1	軽傷	転落	無	山林の落石調査中、誤って転落して負傷したもの。
10	6月24日 (土)	尾張富士 (275m)	2	1	重傷	転倒	無	山頂の神社を参拝するため、登山道を歩行中、転倒して負傷したもの。
11	8月6日 (日)	八嶽山 (1140m)	3	1	軽傷	道迷い	無	グループ内の1名が、仲間とはぐれて道に迷ったもの。
12	8月27日 (日)	夏焼城ヶ山 (889m)	2	2	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難し、自ら救助要請したもの。
13	9月2日 (土)	本宮山 (789m)	1	1	無事救助	疲労	無	体力不足により、下山困難となっていたところ、他の登山者が見かねて救助要請したもの。
14	9月3日 (日)	竜頭山 (752m)	2	1	死亡	滑落	無	山菜取りをしていたところ、登山道から滑落し、頭部を強く打ち、亡くなったもの。
15	9月4日 (月)	神石山 (324m)	12	1	重傷	転倒	無	登山道外側の花を見ようとして登山道のロープを跨いだところ、引っかかって転倒したもの。
16	9月20日 (水)	猿投山 (628m)	1	1	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難していたところ、家族が救助要請したもの。
17	10月9日 (月・祝)	鳳来寺山 (684m)	2	2	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難し、自ら救助要請したもの。
18	11月5日 (日)	物見山 (327m)	1	1	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難し、自ら救助要請したもの。
19	11月15日 (水)	大野山 (804m)	1	1	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難していたところ、他の登山者が通報したもの。
20	11月23日 (木・祝)	鳳来寺山 (684m)	2	1	無事救助	病気等	無	登山道を歩行中、低体温症により意識を失って倒れたもの。
21	11月28日 (火)	道樹山 (416m)	2	1	軽傷	転倒	無	登山道トンネル内で足をつまずき転倒したもの。
22	12月2日 (土)	宇連山 (929m)	3	3	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難し、自ら救助要請したもの。
23	12月10日 (日)	八嶽山 (1140m)	1	1	無事救助	道迷い	無	道に迷って遭難していたところ、家族が救助要請したもの。